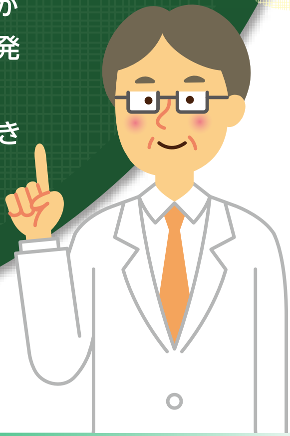
ゲフィチニブ錠250mg「サンド」を服用される患者さんとご家族の方へ

このお薬は、上皮成長因子受容体（*EGFR*）遺伝子変異が陽性の非小細胞肺がんで、手術ができない場合や再発したときに使用するお薬です。
がん細胞の増殖に必要なEGFRというタンパク質の働きを妨げることでがん細胞の増殖を抑えます。



EGFRとは

非小細胞肺がんの細胞の表面に発現する上皮成長因子受容体（EGFR）は、上皮成長因子（EGF）と結合することで活性化し、がん細胞が増殖するのに必要な信号を細胞内に伝える役割を担っています。

*EGFR*遺伝子変異について

*EGFR*遺伝子に変異があるとEGFとの結合がなくてもがん細胞が増殖するのに必要な信号が伝わります。日本人の場合、非小細胞肺がんの患者さんが全体の30～40%に*EGFR*遺伝子の変異が認められます。ゲフィチニブというお薬は、がん細胞を直接攻撃するのではなく、EGFRに作用することでがん細胞の増殖を抑えますが、この遺伝子変異があるとその治療効果が高いことが知られています。

*EGFR*遺伝子変異検査について

気管支鏡や痰の検査で採取した組織や細胞を用いて*EGFR*遺伝子に変異が認められるかどうかを調べます。この*EGFR*遺伝子変異検査は保険で認められています。

急性肺障害、間質性肺炎の副作用について

- このお薬の服用中に息切れ、息苦しい、咳や発熱など風邪のような症状があらわれた場合には、急性肺障害や間質性肺炎の可能性がありますので、ただちに医療機関を受診してください。

- このような初期症状があらわれる急性肺障害や間質性肺炎は、早く見つけて、早く処置を行わないと、死亡につながる可能性があります。

次の方は主治医または薬剤師に相談してください

- 現在、呼吸がしにくかったり風邪のような症状がつづいている方
- 今までに急性肺障害や特発性肺線維症、間質性肺炎、じん肺症、放射線肺炎、薬剤性肺炎がある、または出たことがある方
- 現在、体調の良くない方
- 肝機能障害のある方
- 以前にお薬や食べ物でかゆみや発疹などのアレルギー症状が出たことのある方
- 妊娠または妊娠している可能性がある方、授乳中の方
- 自動車の運転や危険を伴う機械の操作をすることがある方
- 現在、他のお薬やセイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)を含む健康食品を使用している方

服用方法

- 必ず主治医または薬剤師の指示どおりに服用してください。自己判断で服用を中止したり、お薬の量を増やしたり減らしたりしないでください。
- 飲み忘れに気づいた場合は、気がついたときにできるだけ早く服用してください。ただし、次の服用時間がせまっている場合は、1回分をとばし、次の通常の服用時間に1回分を服用してください。2回分を一度に服用しないでください。
- 誤って多く服用した場合は、すぐに主治医または薬剤師に相談してください。

服用中の注意点

- このお薬には併用を注意すべきお薬があります。他の病院を受診する場合や、薬局などで他のお薬を購入する場合は、必ずこのお薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- グレープフルーツジュースはこのお薬の作用を強くして副作用を起こすことがありますのでご注意ください。
- このお薬を服用している女性は妊娠を避けてください。
- このお薬を服用している間は授乳を避けてください。
- 主治医の指示に従って定期的に肺や肝機能検査を受けてください。

副作用の注意点

息切れ、息苦しい、咳や発熱など、風邪のような症状があらわれた場合は、ただちに医療機関を受診してください。

次のような症状に気づいたら、ただちに主治医または薬剤師に相談してください。

- 下痢がひどくて止まらない、おなかの激しい痛み、吐き気、血を吐く、食欲がない、便に血が混ざる、便が黒くなる
- のどが渇く、体がだるい、尿量が減る、尿に血が混ざる
- 全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ、38℃以上の高熱、まぶたや目の充血、唇や陰部のただれ、関節の痛み、のどの痛み

他にも何か気になることがあれば、主治医または薬剤師に相談してください。

保管等に関する注意点

- 直射日光、高温多湿を避けて保管してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- お薬はシートから出さずにシートのままで保管してください。
- このお薬はあなただけに処方されたお薬です。他の人（親、兄弟、姉妹、友人など）に絶対に渡さないでください。

販　売
サンド株式会社
東京都港区虎ノ門1−23−1

製造販売元
ダイト株式会社
富山県富山市八日町326番地

GFT2301E-SA
2023年1月改訂